

## Reading List: Reading Freud and post-Freudian ideas 3

### フロイトの系統的理解：3．新たな精神分析的諸見地（1920－1939）

全 12 回。各回は、**Jean-Michel Quinodoz (2005) : Reading Freud. A Chronological Exploration of Freud's Writings.**（以下 RF と略）の構成に沿っている。**SE** は **Standard Edition** の略。フロイトの邦訳に関しては、ちくま学芸文庫あるいは人文書院版『フロイト著作集』（著、と略）、岩波書店版『フロイト全集』（全、と略）を参照。また、関連性に応じて **Contemporary Freud: Turning Points & Critical Issues, International Psycho-Analytical Association.** および **Freud: A Modern Reader, Whurr Publishers.** などを適宜参照する予定。

1. [4月18日] 反復強迫と死の欲動の問題 RF : pp.185-193. 「快感原則の彼岸」 (SE XVIII, 1-64; 著VI、150-194; 全17、53-125)
2. [5月16日] 構造論的見地の始まり RF : pp.194-202. 「集団心理学と自我の分析」 (SE XIII, 65-143; 著VI、195-253; 全17、127-223)
3. [6月20日] 対象関係論的見地の始まり RF : pp.203-211. 「自我とエス」 (SE XIX, 11-59; 著VI、263-299; 全18、1-62)
4. [7月18日] マゾヒズムとエディプス・コンプレックス RF : pp.212-216. 「マゾヒズムの経済的問題」 (SE XIX, 155-170; 著VI、300-309; 全18、287-300)
5. [8月15日] 新しい不安概念 RF : pp.217-226. 『制止、症状、不安』 (SE XX, 75-174; 著VI、320-376)
6. [9月19日] 精神分析と科学および倫理 RF : pp.227-234. 『ある幻想の未来』(SE XXI, 5-56; 著III、362-405)、『素人による精神分析の問題』(SE XX, 177-250; 著XI、159-235)
7. [10月17日] 精神分析的文化論 RF : pp.235-242. 『文化への不満』 (SE XXI, 57-145; 著III、431-496; 全18、239-243)、『続・精神分析入門』 (SE XXII, 1-182; 著I、385-536)
8. [11月21日] 神経症と精神病再説 RF : pp.243-248. 「神経症と精神病」 (SE XIX, 147-153; 全18、239-243)、 「神経症と精神病の現実喪失」 (SE XI, 163-208; 著VI、316-319; 全18、311-316)、 「否定」 (SE XIX, 233-239; 著III、358-361)、 「解剖学的な性の差別の心的帰結の二、三について」 (SE XIX, 241-258; 著V、

161-170)

9. [12月19日] 自我の分裂機制について RF: pp.248-253. 「呪物崇拜」(SE XXI, 147-157; 著V、391-396)、「防衛過程における自我の分裂」(SE XXIII, 271-278; 著IX、152-155; 全22、263-267)、「精神分析学概説」(SE XXIII, 139-207; 著IX、156-209; 全22、175-250)

10. [1月16日] 精神分析の仕事とは RF: pp.254-263. 「終わりある分析と終わりなき分析」(SE XXIII, 209-253; 著VI、377-413)、「分析技法における構成の仕事」(SE XXIII, 255-269; 著IX、140-151)

11. [2月20日] 精神分析とユダヤ性 RF: pp.264-272. 『人間モーセと一神教』(SE XXIII, 1-137; 著XI、271-376; 全22、1-173)

12. [3月20日] 総括: 今日フロイトを読むこと RF: pp.273-274.